

昭和六十三年十一月二十八日 「講演概要と塾生の感想及質疑応答」

「現代学生気質 心理学者としての視点から」

立教大学カウンセラー 平木典子先生

「学生気質」

北寮 東大三年 浅井 祥仁

反面安閑にして快適なる生活趣向を生み、可能性は、受験勉強に狭窄せらる。

また、富を齎す高度成長は産業構造をして著しく変革せしめ、サラリーマンを生じ、子供に

現代の学生を大きく三つに大別するに、一つは、努めて明るく振舞い他人の注意を自らに留めんとする型であり、次は、人との葛藤を避け極力人と歩調を合わせ、時として道化師となる型である。最後は、真の心の交流を欲すれど得られず、些か冷めて傍観せる型なり。

これら、全て、枝を異にすれど、すべて同根より生ず。共に真に自らが欲することが分からず、没個性に徹し、全ての艱難を避け、安閑たるを旨とするものなり。故に現代の学生気質を端的に表わすなら、耐性なき回避気質に尽き、その原因たるや現代社会を温床とすること甚だし。

原因とおぼしきもの、大きくあげるに三つあり。豊かさや核家族化、加えて、受験戦争なり。豊かさは個性に多くの可能性を提供すれど、

父親の生き方や考え方を伝達する機会が核家族化とあいまって、失われること甚だし。女性の生き方も大きく変わり、大きな変化の中で狼狽する両親に大人のモデルを見いだすこと能わざるままに今に到れる。

また管鮑の交わりにつながりゆく礎となる体験、それはギャングエイジに、心底深き所を分かち合う体験なれど、これを受験勉強と引き換えに失う。

故に、著しく弱く、耐性なきこと甚だし。然れども、これを案ずるに唯、杞憂する勿れ。耐性なきは、後の処方因りては大いに道は開けり。自らの立てる所を見定め、問題を鑑み、以つて自らの歩みをなせば、道必ずや開かん。旨とすべきは、偽らざる勇氣なり。自ら真と思うは、例え人が否とせるものなれど、曲げず、

艱難辛苦の道を厭わず、問題を克服し、自らに正直たらんことを以つて旨とし、人に偽らざること心に思うべし。

平木典子先生講演感想

北寮 慶大二年 小田 武

先生がいらした昭和六十三年十一月二十八日の夜、私は寒さと少しばかりの期待感から顔を紅潮させ、いつもより軽い足取りで、階段を駆け上がりました。講堂の中は、講師が女性という、塾生にとっては肝要な理由があるのか、塾生の数が目白駒で会う川村女子高等学校の生徒のおさげの数程ではないにしろ、いつもより少し多く思えました。余談ですが、川村女子の高校生が何人いたって平木典子先生の方が何倍も私にとって、価値があったのではないかと思うような、思わないような今日この頃です。ところで、先生が講演の中で挙げていた『ス

タン・ド・バイ・ミー』という映画には、私も共感を覚えたクチです。あの映画で描いていた、主人公達が自分の弱さや劣等感を、相手に示しても、お前はそれで下らないと存在を否定されずに、お前にはこんないい所があるじゃないかと自分の存在を全体で支えて貰った体験は、私たち若い世代にとつて、深く心に訴えるものがありました。そうやって他人とつながっていくことは、人間が成長する段階において、必要とされることも知れません。

和敬塾の寮生活は、そういった体験を持てる機会に恵まれていると言えるのではないでしょう。最近、和敬塾のアルバイト化が言われていますが、新入塾生における、委員会面接や、お立ち台、塾祭の準備の作業等は、それなりに同じ学年同士の連体感を生じさせるし、互いに理解し合い、認め合える友人と出会うきっかけになります。それが、あいつでも頑張っているから俺も、という気にならせます。

ですが、集団の中で埋没していくことは危険です。自分の意見もしつかりと言えず周囲に流される人間には、私はなりたくありません。集団の中で他人と協調していく姿勢の中でも、本当に自分が捨ててはいけない部分、捨てたら自分が自分でなくなってしまう部分は必死に守り抜くべきです。先生もおっしゃっていました。が、そうやって自分に正直に生きた人達は、自

分の場所を持つている。自分の立っている場所を知っている人達は、後々、時代をリードできる人になれるかどうかは別としても、集団の中の組織の中にも輝いているのでしょう。

和敬塾の寮生活において、危険なところはまさにここでしょう。集団の中で墮落？して、自分の持つているモノを大事にせず、磨かないのは、勿体ないというより、自分自身でつまらない思いをすることになります。先生のコンパにおける現代学生の心理学的考察も面白いものでしたが、それ以上にそういう所は興味をそそられました。

平木典子先生質疑応答

北寮 二年 兎束君の質疑
北寮和光大二年 兎束 龍介

言うのも恥ずかしいのですが、和敬塾というのは男社会なもので、講師に女の方が来られるというのは初めての事なんですけれども、そこでもちよつと伺いたいことがあるのですが、先ほど先生は今の学生は耐性が無いと仰いましたし、あと色々な事を仰いましたが、私の一番知りたいのは、男子学生がそういうのが多いとして、それについて女子学生の方はどの様に考えているのですか。それを少し伺ってみました。

(講師の応答)

あの全体としては女子学生も似ているんです。全体の傾向として、やはり同じように育てられているので、やっぱり打たれ弱いですし、そういう意味ではほとんど同じで、それで皆さん達もそういう意味で比較的軽く流している女子大生と言うのも見られると思うのです。大学が男女共学の大学へ行ったらつしやると、大変美麗に着飾って、大変軽くフワフワと生きていくという女子大生も沢山いると思いますから、そういう軽快な女子学生が居る裏には、とても耐性が無い学生が多くいるわけです。ただ今の世の中を、先の世の中より少数派が生き易い世の中だと思うわけです。その他大勢の中にいると安全なんです、今。その他大勢の中にいると皆と一緒に居られるし、皆と一緒に居れば、どうにか食べてゆくに困らないし、豊かだし、と言う事で皆と一緒にいるとどうにかやって行けるのです。敢えて少数派を選んだと言うことは、かなり世の中に受け入れられ易くなっていると言うのか、つまり少数派を選んだと言うことは、プラスで考えると個性があると言うことになるわけです。マイナスで考えると落ちこぼれと言うことになるわけです。だから、落ちこぼれになるか個性派になるかと言う大きな選択をしなければならないので大

変なのです。そう言う意味で言いますと、男子学生より女子学生は、今まで余り大切にされなかったし、女だからと言うことで、何か冷飯を食べさせられていた感じがするのです。実はそうではなくて、女子学生は少数派であった為に頑張らなくてはならなかったと多少思える。だから男子学生と女子学生を較べると、底流は余り変わらないんですけど、ちよつと違うところへ行くと女子学生の方がずつと元気が良いんです。女子学生は生き生きしている人が結構沢山います。それはどう言う違いかと言いますと、ちよつと端的に言い過ぎだけれども、男子学生は古い昔の男のイメージに捕らわれている人が多いんです。だから将来は一流企業に就職して妻子を養つてとおもっているのですよ。ほとんどの人が。そして、一流企業に就職して妻子を養つてと言うもののイメージは、どういうイメージかと言うと、私達の時代では、今の父親や母親よりはもつと良い生活が出来ると言う事を目指してやつてきたんです。だけれど今の学生の話の聞くと、そんな学生の数は少ないことを祈るのですが、今の学生にイメージを聞くと、貴方は三十歳になるとどんな事をしていっていると思いますか、どうなっていると思いますかと聞くと、まあLDKに子供二人ぐらいですかねと言う風に言うんですよ。相変わらず妻子を養つて、それでも東京なんかで生きていく

んじゃないそんなに大きな家には住めそうもなく、それであくせくと仕事をしてと言ったイメージがあるらしんですよ。だから男の人には元気が無いのよ。今よりも何か夢があると言う感じがどうもしないらしくて、家の親父が課長止まりだから僕もそれ以上は行かんでしようとか何とか言われちゃうんですね。それでエツと思ったり、がっかりしてしまふんです。

けれども、女子学生は必ずしもそうじゃないんですよ。どう言う風に言うかと言いますと、やっぱり結婚か仕事か二者択一みたいな所で悩んでいる学生もいるんだけど、結婚をして夫から専業主婦を私に希望するくらいなら、自分は仕事もしたいから、仕事も家事も言うのはすごく大変だから、まあ結婚しなくても良いわなんて言う人が結構沢山いるわけです、女子学生の中には。結婚するしたら仕事もやりたいから、仕事をするのを許してくれる人を探そうとか、或は協力してくれる様な人を探して結婚する。もしいなければ、一人でもいいや。と、案外今はシングルでも、案外と生き易くなっていますから、そう言う事を言う人が沢山いて、しかも男子学生よりは女子学生の方がよっぽど、私の相談所に来る学生はですけれども、いい加減に就職しないんです。やっぱりやりたいことは何かと言うことを必死に探して、やりたいことでどうせなら稼ぎたいと思つて

いる人が、女子の方には多いんです。私の所に来る人は何故かと言うと、妻子を養うなんて思わないから、女子は、夫を養うなんておよそ女子学生は思いませんから。つまり、無責任なんです。裏をひっくり返せば無責任なのでだけれど、私は私の食いぶちぐらいは何とかやるって感じだから、好きなことやって生きようとなつてくるわけ。だからね、どっか入れる所に入つてなんか思わないから、元気良いんですねと言う感じはあります。一つの感じですけど。良いですかそんなところで

(南寮 三年 田村君の質疑)

先生のお話でコンパで三つのタイプの人がいる。それが現代の学生の一種の氣質になつていっていること、僕なりに考えたのですけれども、第一の種類の人は話題を育てる人、感じ、第二の種類の人はピエロって感じの人、第三の種類の人は傍観者って感じの人なんですけれど、本当の自分を隠しているわけなんです。そう言うのは(後は何を言っているのかよく聞き取れません)

(講師の応答)

すごく旨く解説して頂いて助かりましたが、回避性性格と言うのと、今の若者達の特徴を言うもう一つの言葉の中に自己愛性格と言うのがあつたわけなんです、その本音を出さないこ

とで、つまり自分を隠すことで人から愛されたい、自分が厭な人間だと人から思われたくないということから、自己愛性格だとカナルシズムとか言う所に行くのです。つまりよく幼児化とか、幼児性性格とかと言う言い方もされるのですが、自分の事を人から愛して貰いたい、自分はチャホヤされたい、自分のことを人が良い人だと思つて貰いたいと思うことは、幼稚園の頃によく思うことなんです。子供達が自分がないであつても親から愛されたいとか、受け止めて貰いたいとか、そう言う意味から言えば、幼稚園の頃には、貴方は誰であつても、貴方であると言うことが大切なんだと言うことを、母親や、幼稚園の保母さん達が言つてあげないと駄目なんです。つまり存在そのものを認めてあげることがないと、その実際は、その人が自分であると言うことが大切なんだと言うことを体で憶えることが出来ないから、幼稚園以前の時期に大人がしてやらなければならぬことなんです。ところがですね、どうしたら良いかと言うことは後にして、今の子供達は、貴方が貴方であると言うことが一番良いことなんだつて言うメッセージを余り貰わないんです。先の話の度強く、悪いことばかり言つてゆくと、余り言わなかつたんですけれど、今のお母さんと言うのは、貴方は貴方で良いんだ、そのままが良いんだと言う育て方をしないで、成績の良

い子が一番良い子よなんて育て方をするわけなんです。だから、存在を認めると言うのが、愛なんですけれど、子供に存在を認める愛を提示する前に、承認の方法を渡してしまうわけ。要するに何かが出来ると承認してあげる、何かが出来ないと承認しないつていう行動があるんですけれども、人間は何か承認されたり承認されなかつたりする体験を積み重ねることによつて何かを上手にしたり、下手なものもしなかつたりすることを学んでゆくわけで、その承認を得ることも必要なんです。だけど承認を得ると言うことは、その愛があつてはじめて活きるんで、いきなり承認が来ちゃうと、貴方は何か出来るから良い、出来ないから駄目になつてしまつて、存在そのものを否定される様な事が、起こるわけです。

だから、今の病的な性格を持つてとても自分の性格作り苦労している人は、私達の相談所にも、そう言う自己愛的なものを自分なりに、自分を支える為に持たざるを得なくて、周りから愛を貰えないから、そう言う事で自分を自分で愛することしかできない。だから、自己愛的な所でジタバタしている様な人達が沢山来るわけですが、そうするとその人達は、誰かが愛してくれる事をひたすら探して回るしかなくて、なかなか先に進めないんです。だからそう言う場合には、やはり愛が必要なんですよ。

そういう意味では、母親的な愛、何と言おうと貴方は貴方で良いという認める愛が必要なんです。だから、そう言う愛を渡してくれる人、そう言う愛を得られる場所、そう言う所を探し歩くしかないんだらうと思うわけです。それは、例えばカウンセリングルームであつたり、友達であつたり、色々するわけです。

そう言う意味で、そこまでいかない、今は極端な例を言いましたが全体的もそうなんです、承認の所で自分が活かされてきていて、成績が悪いと人間全体も悪いと、そんな感じで活かされてきている人達が、今頑張つて欲しい事は、すごく勇気がいることなんです、やっぱ裸になることだと思つています。裸になることつてとても怖いこととみんなは思つていて、思つていますけれども、皆んな怖いんだから、誰か裸になれる様な仲間を作り合うことなんだと思つています。

こんな寮にいますと、それは出来てしまふじゃないかなと、今、寮と言うのは大切なんじゃないかなと思つていますが、毎日の生活をしていたら、かつこの良いことばかり言つてられないし、かつこの良いことばかりやつてられないから、お互い裸になつてつき合わざるを得ないです。自分の中にある、憎しみや、恨み、嫌悪。そう言つた自分の中にある弱さや、汚い所もみんな見せなければならぬし、と同時に美しい

素晴らしい部分も見せていく事が出来るわけで、先に裏表見なければならぬと言いましたが、人間は表ばかりではありませんので、裏を見せることが出来る仲間を探すことだと思えます。先に言いましたが、病的にまで大変でない人ならば、そう言う仲間を一生懸命探して欲しいですね。仲間同士、本当に辛いこと、厭なこと、そう言うものを分かち合える様な状況作りを是非してもらいたいと思います。

※当DVD収録のご講演録には、現在では不適切と思われる表現が用いられている場合がございますが、講演時の時代背景等を尊重し、当時のままといたしました。